



2017年（平成29年） 6月 5日 月曜日

日刊 5



画像①地金のペン立て

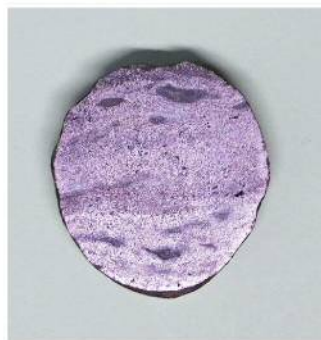
愛用の小豆色「ブラチ
ナ万年筆」を見て頂きた
めに画像をアップしてい
る訳ではありません。そ
れを支えるペン立てにご
注目ください。古い鎖を

鉄のふしぎ？ 博物館

■57

『地金のペン立て』

鉋の製造は柔
らかい地金（じ
がね）に刃金（や
はがね）を鍛接
します。地金に
は研ぎやすい材
質を選びます。
特に好まれるの
は墨流しと呼ば



画像③リンク断面

輪切りにしたものです
（画像①）。鉋（かんな）
を造っている兵庫県三木
市の業者さんの製品で
「第二回三木いいもの発
見コンクール」で最優秀
賞を受賞されたそうで
す。



画像②リンク外観

れる模様
（のみ）
の綺麗な鉋や鑿
（のみ）などです。包丁

材料→加熱→鍛造→切断→腐食（木目仕
上げ）→穴明け→磨き→刻印→金粉仕上げ

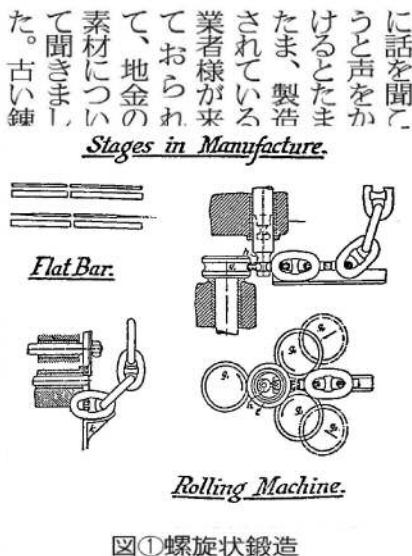
高級鉋に使われる地金の多くは明治22年
以前にイギリスから輸入された錬鉄を用い
ます。主に船舶に使われていたチェーンや
鉄橋の部材を鍛造して板状に伸ばし、刃金
と鍛接します。この鉄は現在の製法では造
れない希少な鉄で軟らかく、研ぎ易く、硬
い刃金の刃物にはかかせない重要な役割を
果たします。

100年以上前のイギリス製船舶用チェ
ーンを使い、高級刃物仕上げの木目仕上げ
を施し、十二支の刻印を入れ、異型で同じ物
が無く全てがオンリーワンの逸品です。

やナイフにも墨流しのも
のがあります。『道の駅み
き』は金物展不即売館で、
三木市内にある金物メー
カーの商品が販売されて
います。鋸（のこぎり）、
鑿、鉋、こて、小刀など
は伝統工芸品に指定され
ている物もあります。私
はそこで、このペン立て
を購入しました。販売員

製造工程は以下です。私
のものには裏側に小さな
刻印がありました。
錬鉄で造られたと思わ
れる、チェーンのリンク
（画像②）を三木の材
料販売業者の方からお分
け頂き調べてみました。
それは開陽丸のチェーン
より後に製造されたもの
で、錬鉄の帯鉄を材料と

鉄（ロートアイアン）は入
手が困難で、昔、パリの
エッフェル塔（1889
年）を買いに行こうと元
談話が出たこともあるそ
うです。
『地金のペン立て』の
製造工程は以下です。私
のものには裏側に小さな
刻印がありました。
錬鉄で造られたと思わ
れる、チェーンのリンク
（画像②）を三木の材
料販売業者の方からお分
け頂き調べてみました。
それは開陽丸のチェーン
より後に製造されたもの
で、錬鉄の帯鉄を材料と



図①螺旋状鍛造

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと
交換しています。